創立８０周年
大久野中 コミュニティ・スクール
生徒ファースト
一工夫　笑顔
こだわり　寄り添い
日の出町立大久野中学校
CSだより　第　６　号
令和８年１０月７日

教育目標　「自ら進んで学ぼう　思いやりの心 感動する心をもとう　たくましく 心とからだを鍛えよう」

地域とともに未来を創る学校へ　２

学校と地域社会が手を携えたとき、子どもたちの学びと生活はどのように変化するのでしょうか。 単なる「手伝い」ではなく、地域全体で子どもを育て、教員の働き方改革や部活動の地域移行、進路指導、更には防災教育までを一体で推進する取り組みが、「大久野中コミュニティ・スクール（CS）」で進められています。



キッチンカーでＣＳかき氷

１学期終業式で**「９月１日は何の日？」「かき氷の日！」**と生徒に知らせ、夏休み後半には教員からの全生徒への連絡で、夏休みの様子や宿題の状況を聞きながら、「かき氷食べに来て！」と呼び掛けをしました。長い夏休み明けの初日は憂鬱になる生徒も多い中、少しでも「学校に行こう」という、きっかけになればと思い企画しました。

２学期始業式で、各クラスの代表生徒と校長先生のじゃんけんで順番を決め、１位を勝ち取った２年Ａ組からスタートしました。１４種類のシロップを選んでかけ、**「うれしい！　おいしい！　めっちゃ楽しい！」**と生徒たちの笑顔が溢れていました。学校運営協議会委員長の越沼さんがキッチンカーで「ＣＳかき氷」を提供し、ＰＴＡからの援助で生徒たちの２学期のスタートを応援しました。







コミュニティ・スクールから見える「学びの循環」の実践発表

７月１８日（土）に**「日の出町教育シンポジウム」**が開催されました。このシンポジウムは、日の出町教育ビジョン 2023 のまとめの会です。シンポジウムは２部制で、１部では４人のパネラーによるパネルディスカッションが行われました。パネラーとして参加した校長先生からは、**コミュニティ・スクールから見える「学びの循環」の実践発表**をしました。具体的には、音楽部と地域団体（アンサンブルポエム）との連携や、大久野中の特色ある取り組みである「職場体験」と「林業体験」の学びの循環から、子どもたちが地域から直接学びを得る仕組みが発表されました。



コミュニティ・スクール・クラブ（CSC）



部活動の地域連携及び地域移行が全国的に推進されています。日の出町では部活動時間の削減方針（段階的な平日週２日～3 日化など）や、教員の働き方改革の波があります。大久野中では、部活動とは別に**「親しむ」**ことに重点を置き、令和９年度から月２回程度の**コミュニティ・スクール・クラブ（CSC）を独自に設立**しようと考えています。CSC は、部活動加入者でも空いている**「すき間時間」**に参加できる**「お楽しみクラブ」**として位置づけています。

１学期にとった生徒アンケートの結果、ニーズが特に高かった**「サッカー」と「バドミントン」**の２競技においては、地域のスポーツ団体や近隣の高校、専門人材を活用した段階的な立ち上げが進められています。また、**マンガ・イラスト等**のクラブを運営する地域人材を探している所です。

地域人材による教育支援と教員・保護者のリフレッシュ

（１） ＣＳによる面接練習



高校受験に向けた３年生面接練習では、校長や教員による１・２回目の指導を経たうえで、受験本番前の１月～2 月に CS 委員や地域人材が面接官を務め**「3 回目の仕上げ指導」**を行います。初めて会う地域の大人と 15 分程度（面接 10 分＋フィードバック５分）の対話をすることで、生徒は適度な緊張感を体験し、実践的な表現力や発表力を身に付つけます。

（２） 教員と保護者のリフレッシュ

多忙な教育現場における教員のメンタルヘルスケアや、保護者との気軽な交流の場として、放課後（16 時頃）の多目的教室等を活用した**「ヨガ教室」**の企画を考えています。研修としての側面をもたせつつ、教員と保護者が共に汗を流すことで、学校コミュニティの良好な人間関係を築いていきます。

３学期始業式での「豚汁」

学校運営協議会が手伝い、PTA による **3 学期始業式の「豚汁大会」**の実施を考えています。



長期休業明けのイベントとしては第二弾となりますが、大きな竈（かまど）を使って火をおこし、豚汁をつくることは、以前行われていたマラソン大会で経験済みとなります。薪での火おこしは、大久野中が避難所に指定されていることから**防災教育**にもつながると考えています。

PTA だけでなく、できれば元 PTA や花ボラ委員の協力も得ながら、寒い冬の豚汁で生徒の心を温め、３学期のスタートを応援したいです。

歴史的資料の公開



昭和 20 年代の第１号からの**「日の出村報」**全巻を含む極めて希少な資料等の公開を検討しています。先ずは身近な保護者・生徒に見る機会をつくり、その後、学校の**授業公開日に一般開放**して、地域にも宣伝していきたいと思います。